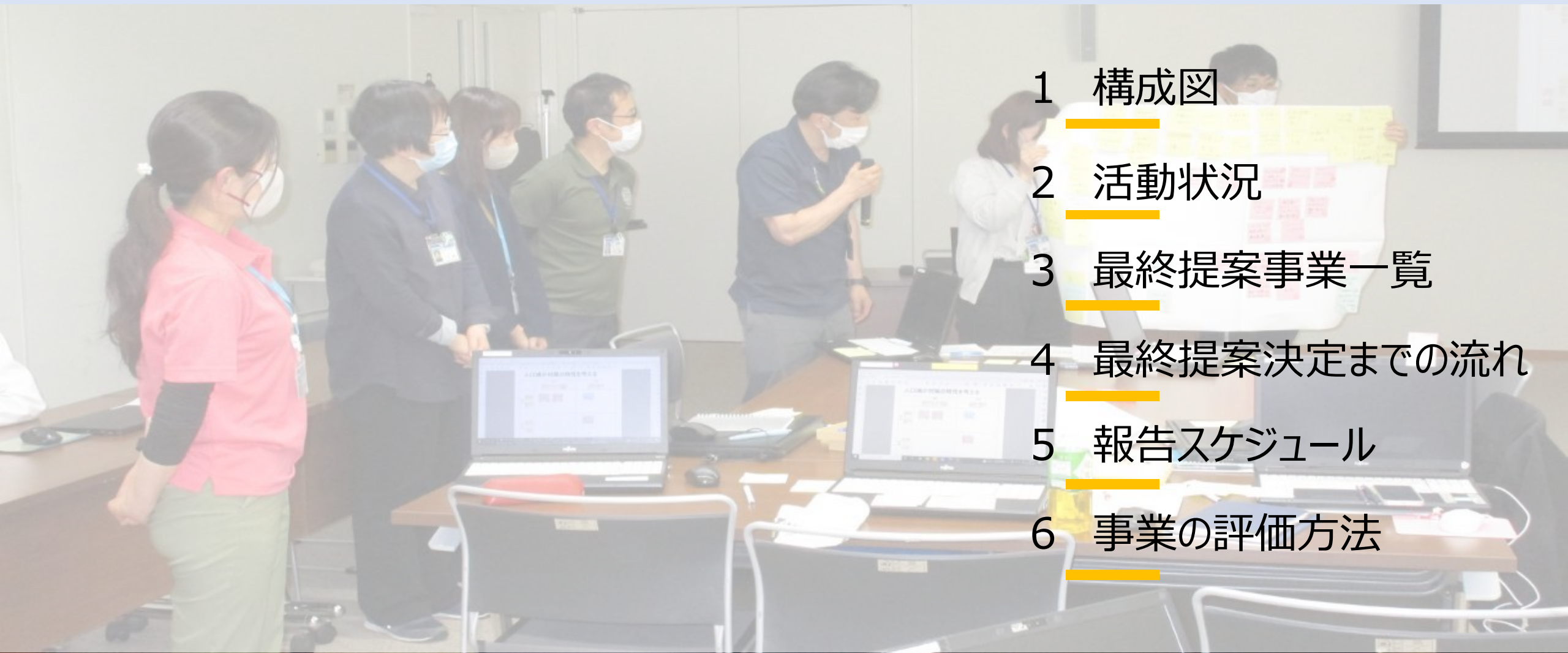


令和5年度人口減少対策プロジェクト

- 
- 1 構成図
 - 2 活動状況
 - 3 最終提案事業一覧
 - 4 最終提案決定までの流れ
 - 5 報告スケジュール
 - 6 事業の評価方法

1 プロジェクトの構成図

全体会

- ・12名（部会からリーダー1名が出席）
- ・共有、連携やブラッシュアップを検討する

各部会の協議結果
(アイデア、方策)

部へ持ち帰り
(関係課で協議)

63名

部会（部・支所内協議）

- ・現状確認、課題分析、アイデアや方策を抽出

① 総務部他

- ・ 総務課
- ・ 危機管理課
- ・ 税務課
- ・ 財政課
- ・ 会計課
- ・ 議会事務局
- ・ 監査事務局

② 政策企画部

- ・ まちづくり推進課
- ・ 政策推進課

③ 生活福祉部 福祉事務所

- ・ 市民課
- ・ 人権啓発課
- ・ 環境衛生課
- ・ 健康づくり推進課
- ・ 福祉課
- ・ 子育て支援課
- ・ 長寿介護課

④ 産業部他

- ・ 経済振興課
- ・ 農業水産課
- ・ 林業課
- ・ 農業委員会

⑤ 建設部

- ・ 建設課
- ・ 上下水道課

⑥ 医療介護部

- ・ 市民病院
- ・ 野村病院
- ・ つくし苑
- ・ 医療対策室

⑦ 消防本部

- ・ 消防総務課
- ・ 防災課
- ・ 消防署

⑧ 教育部

- ・ 教育総務課
- ・ 学校教育課
- ・ まなび推進課

⑨ 明浜支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

⑩ 野村支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

⑪ 城川支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

⑫ 三瓶支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

2 活動状況

5月

6月

7月

8月

9月

全体

●5/12任命式

●7/21 全体会

●9/26 全体会

部会

●部会内でアイデア出し

●全体会へ持ち寄るアイデアの絞り込み

●先進地への視察など

●最終報告へ向けての協議

最終報告



任命式

- 任命書の授与
- 愛媛大学松村教授によるワークショップ



部会

- 部会メンバーで何度も話し合い

7/20 ▪ 政策企画部 八幡浜市へ視察

8/1 ▪ 教育部 砥部町へ視察

8/16 ▪ 産業部 松野町へ視察



全体会

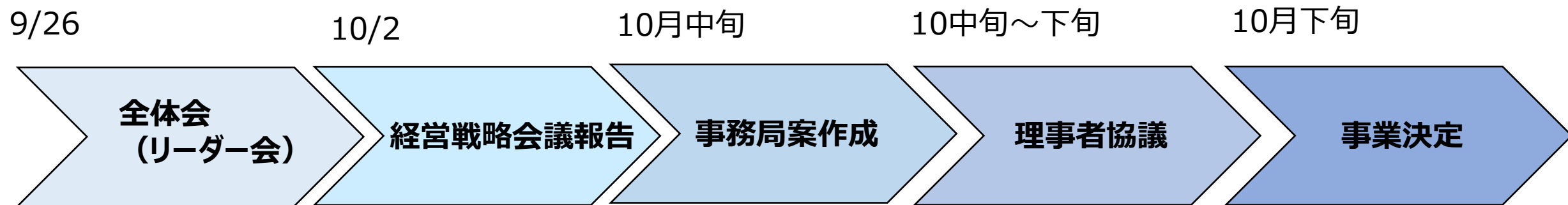
7/21 ▪ 部会から出た100のアイデアの中から21にしぼり共有・意見交換

9/26 ▪ 最終提案報告会

3 最終提案事業一覧

分野	部会名	事業
1.子育て	総務部他	せいは子育て環境づくり事業 ①休館日の調整 ②育休促進事業
	生活福祉部他	夏服にジオポロシャツ導入!!制服からはじまるリユースの仕組みづくり ①ジオポロ推進事業 ②制服リユース事業
2.教育	政策企画部	①せいは版キャリア教育 ②学びのフィールド化プロジェクト事業
	教育部	持続可能な学校づくり事業
	野村支所	小・中・高校と地域の連携事業と野村高校の存続
3.仕事	産業部他	せいは“マルチワーク”事業
	医療介護部	医療従事者確保支援対策
	明浜支所	家業継承マッチング事業
4.住まい	建設部	若年層・子育て世帯空き家利活用促進事業
	三瓶支所	住もう！来よう！構えよう！せいは住宅整備応援金事業
5.その他	消防本部	救急救命指導避難訓練等OB活用事業
	城川支所	せいは同窓会開催サポート事業

4 最終提案決定までの流れ



- PTリーダーによる最終報告の発表
- 1部会あたり約5分
- 意見集約（評価）

- PT全体や採用方法についての説明
- 1部会あたり約5分
- 意見集約（評価）

- 財政課との協議
- 補助金等の整理
- 部長及びPTリーダーの意見を参考に事務局案作成

- 実施にむけて事業課での検討
- 必要なものは経営戦略会議において付議
- R6に予算化できるものは計上

5 報告スケジュール

9/26 (火) 人口減少対策プロジェクト第2回全体会
10/2 (月) 行政経営戦略会議

1 概要

- ①最終報告までの各部会の活動状況
- ②報告方法の説明
- ③意見集約の手法説明

2 報告

- 分野別に報告

9/26 (火) PTリーダーによる報告
10/2 (月) 各部会部長による報告

分野別に1部会ごと
約5分で報告



分野別発表後
▪ 質疑等時間 (約10分)
▪ シート入力 (約5分)

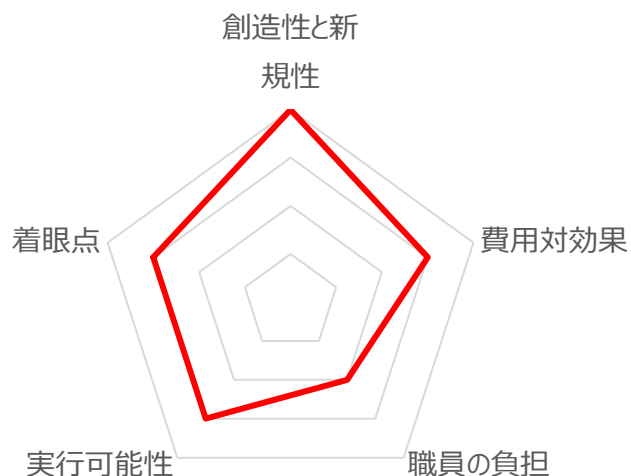
3 報告の順番

	分野	部会名	時間 (質疑等時間・評価時間含む)
1	子育て	総務部他・生活福祉部他	25分
2	教育	政策企画部・教育部・野村支所	30分
3	仕事	産業部他・医療介護部・明浜支所	30分
4	住まい	建設部・三瓶支所	25分
5	その他	消防本部・城川支所	25分



6 事業の評価方法

評価ポイント	
創造性と新規性	新しい視点や創造的なアイデアである
費用対効果	費用に見合った効果が得られる
職員の負担	業務量を考慮し、職員に大きな負担をかけることのない業務である
実行可能性	資源や財源、マンパワーなどを考慮し実現可能性がある
着眼点	住民に求められる視点である（需要）



- 5 非常にそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 思わない

各分野の質疑応答後に、評価ポイントを基に5点満点で評価。
スペースのURLから評価シートに入力し、事務局提出。



【評価の整理】

- ①行政経営戦略会議で部長による評価結果
- ②PT全体会でのリーダーによる評価結果



財政課と協議後、事務局で採用案作成
(評価点のみでなく、バランスや予算状況を勘案)



理事者協議を経て最終決定